



p.2 G2プロット開発 現状のご共有

p.3-4 ジョーダン監督のご提案内容

p.5 お伺いにあたり

p.6 GF様へのお伺い①【G2オリジナルアイテム】について

p.7-8 GF様へのお伺い②【PP】について



## G2プロット開発現状

2022年内での脚本グリーンライトを目標に、ジョーダン監督と週次で定例を実施し、プロット開発を進行中です。

現在、当初企画書にあった、ポケモンを退化させる、というアイデアに対し、GF様からもご指摘頂いた懸念もお伝えしたうえで、監督とは別のアイデアを模索しております。

退化アイデアは元々、**今作で悪役となる裕福なある一族が、他者より不当に優位に立つための手段、かつ、ポケモン世界において全員が守っている大前提を無視する不正行為に足るもの**として提案されておりました(トリックの最終的なネタにはしないようにするという認識です)

退化ではない形で、上記を実現するアイデアは何があるか、という視点で監督と共に検討を進めていたところ、次ページに記載の提案がございましたので、ご共有させていただきます。

また、いくつかご確認頂きたいポイントがあり、ご相談させてください。





## ジョーダン監督案

- ・今作のミステリーの鍵は、一族が住んでいる場所の土地にある。
- ・その土地には一族が自分たちの富と名声を築くうえで、必要不可欠なあるアイテムが関係している。
- ・このあるアイテム(G2オリジナルを想定)とは、非常に希少でその土地でしか採れない石/クリスタル/鉱物である。
- ・このアイテムは、ポケモンの力を一時的に奪う作用を持っている。近いイメージの例として、映画『スーパーマン』に出てくる“クリプトナイト”的な鉱物。
- ・一族だけがアイテムの性質を知っており、秘密裏に利用して、物事を全て自分達にとって上手くいくようにしている(=退化アイデアに代わる一族の不正手段)
- ・一族は豪邸で行われるポケモンコンテストやバトルなどで、このアイテムを何らかの方法で使用(ないし特殊な音波や周波で起動)し、相手のポケモンに不調をきたさせ、自分たちのポケモンが勝てるように仕組んでいる。
- ・ハリーピカチュウは当初失踪したポケモンの事件などを追っているが、そのどれもが実は裏で繋がっていて、最終的に、一族がこのアイテムを独占するためにこの土地を占有していたという大きな種明かしがされる。





- ・そして、劇中における現在時点で一族の屋敷があるその土地は、かつて、ファムファタールが住んでいた場所だった。
- ・当時ファムファタールは、とある施設に住んでいた。  
※施設やファムファタールの詳細設定は検討中。
- ・また近くには3人の孤児達も住んでいた。孤児達は、かつてこの施設で自分たちのパートナーポケモンになると信じていたポケモンたちと出会っていた(当初企画書ではファムファタールは3人の孤児達の1人の設定)。
- ・一族はその土地に眠るアイテムを手に入れるため、土地を買占め、ファムファタールや孤児達を追い出した。
- ・その過程で孤児達のポケモンも一族に土地と一緒に奪われた。
- ・劇中当初は被害者と思われた一族は、実は一連の出来事の黒幕であり、犯人と思われた孤児達は実際は悲劇に見舞われた被害者だった。



## お伺いにあたり

ポケモンを退化させる、というアイデアから、ポケモンを弱体化させる、というアイデアへの方針転換は、TPCとしてはポジティブに捉えています。

一方で、弱体化させることの内容(その効果や範囲、対象など)については、まだ監督も詳細な設定検討に進んでいるわけではないため、今後も監督と密に話し合い、アイデアや実現したいことを引き出していく必要があると考えております。

現在、提案されているG2オリジナルとなる本アイテムは、G2のストーリーやミステリーの核心に関わる重要な要素であるため、このプロットを更に深く検討・開発していくにあたり、**【G2オリジナルアイテム】の可否**について、今回お伺いをさせて頂いた次第です。

なお、次ページにて**【G2オリジナルアイテム】**についてのお伺い、更にその次のページに、本アイテムに関連したアイデアである**【PP】を絡めた表現の可能性**について、お伺いを立てさせて頂いております。







## お伺い事項【G2オリジナルアイテム】

	お伺い内容	TPCコメント
1	ポケモンの力を一時的に奪う作用を持つ本作オリジナルのアイテムをつくることの可否	映画オリジナルのアイテムの創作自体は許容範囲の認識です。なお、このアイテムのポケモンへの作用内容(具体的効果や、作用の範囲・対象等)については、詳細検討中です。
2	このアイテムが、特定エリアの地中からでしか見つからない、非常に貴重な天然物という説明パターンの可否	どこでもあるもの、とするのは、これまでの世界観設定との整合性の観点から避けるべきとの認識です。非常に貴重・特定エリアにしかない、といった方向の制限を設定上付加することは必要との認識です。
3	このアイテムが、過去このエリアに衝突した隕石に由来し、それ故、このエリアでしか発見されない、という説明パターンの可否	隕石と結びつけることは希少性や限定性を説明しやすく、原作本流ゲームにも隕石由来のアイテムがあるので、ポケモン世界観の中でも違和感のない設定と考えています。但し、宇宙から来た、という点の追加説明が必要であったり、SF色が出てきてしまうのは避けたいため、単に地中にある程度の説明とすることも検討希望です。
4	このアイテムを、石/クリスタル/鉱物/隕石といった鉱石系のものとして検討することの可否	本流ゲームにも鉱石系アイテムは登場しており、既存のものとの混同や誤解を避ける観点から、ネーミングはGF様と慎重に協議すべき事項と認識しています。
5	このアイテムの使われ方について。 以下2パターンの可否  ①アイテムがその土地より採掘されて、個別に対峙相手のポケモンに使用されるパターン  ②アイテムが採掘されないまま、常に一族の邸宅の地下にあり、何らかの方法で”起動”されるパターン (音周波、電気などの方法で”スイッチオン”する)	どちらのパターンであっても、許容範囲の認識です。



## お伺い事項【PP】

先述の【G2オリジナルアイテム】により、弱体化などポケモンに何らかの負の作用が引き起こされます。

この内容につき、本来全ポケモンに共通する、「わざ」をだす、ということに影響を及ぼす、という考え方ができ得ると感じています。

その場合、ポケモンの「わざ」はゲーム上、PP(パワーポイント)という形で数値化されておりますが、**ゲームのギミックであるPPをどこまで劇中で表現してよいか、どのように表現できるか、**という論点があると考えています。

### 【お伺いしたいポイント】

- ・そもそも「わざ」が使えないという効果自体の可否。
- ・劇中におけるPPの描写の程度について(次ページ)。





## お伺い事項【PP】

### ・劇中におけるPPの描写の程度について

そもそもPPに言及することの可否、PPに言及することを許容頂いた場合、その描写の程度について、ご感触をお伺いさせていただきますでしょうか。

#### ①PPについて一切言及しない。

演出上ポケモンは疲れていたり、わざが上手く出せない描写のみされる。

#### ②PPを間接的に描写する。

「(測定機器の)値がこんなに低いのはおかしい」といったセリフが入り、明確にPPとは言及しないが、測定可能なパラメーターの形で描写される。

#### ③PPを直接的に描写する。

明確に「PPが減っている、回復している」といったセリフや描写がされる。

ジョーダン監督からは、仮にPPを描く場合、描写可能な程度に応じて演出は対応できるとコメント頂いております。

TPC映像企画としては、ポケモンを生物として写實的に描こうとする実写映画の中で、ゲーム固有のシステム要素を直接的に描写する③は避け、PPに言及するとしても、①②までの程度があり得るのではと考えております。







## 【再掲】あらすじ

"気になるよな、どうして俺がこんな事になってるのかって..."

- ・話は前作で人間に戻ったはずのハリーが、何故か再びピカチュウの姿に戻り、事件に巻き込まれているところから始まる。
- ・ピカチュウが銀行強盗の犯人を追う中でたどり着いたのは、街一番の裕福な一族が所有する、ライムシティ郊外にある壮麗な邸宅。
- ・そこには、一族のメンバーであるポケモンチャンピオンや高飛車な娘(家督相続人)、彼らに仕える住み込みのポケモン博士など、癖のある面々。  
さらにポケモンを連れたセレブがこの邸宅に続々と集まってきていた。
- ・彼らは、一族が年に一度開催するポケモンコンテストに招かれていた。  
ここでも一族のポケモン盗難や、ポケモン博士の殺人など、新たな事件が勃発。  
ピカチュウは、犯人探しの協力を申し出る謎の女性(ファム・ファタール)とともに、事件の真実に迫っていく。





## 【再掲】その後の展開

### 犯行の内容と動機：

- ・ポケモンを盗んだ犯人はファム・ファタールを含む3人(※現在ファムファタールがこの孤児達3人には含まれない可能性もございます)
- ・彼らは幼い頃、チャンピオンら一族にポケモンを奪われた恨みから、復讐を企てたのだった。一族の不正が暴かれたのち、3人は釈放され、ファム・ファタールは名探偵ピカチュウの新たなパートナーに。
- ・ポケモン博士の殺人は相続筆頭者である一族の長兄による犯行。過去の不正が漏れることを避けるため、口封じのため殺害した。

### なぜピカチュウになったか？：

- ・一族の裏の顔に一早く気づいていたハリーとピカチュウは、口封じのため追われる身に。追手から逃れられるのはどちらかという場面で、ハリーはピカチュウを守るために自らの命を投げ出す(※現在ハリーは死なない方向で検討を進めています)
- ・ふたりの絆は強く、もともと一心同体のような存在だったことから、自分たちがなり得る最高の探偵の姿が、ハリーの命を宿したピカチュウ＝名探偵ピカチュウだということに気付く。

